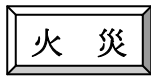


平成 27 年上半期 火災統計

上半期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日まで）の火災・救急・救助の各概況（速報値）は次のとおりです。



出火原因 1 位は「たき火」

上半期に発生した火災は 71 件で、昨年同時期と比較すると 1 件減少し、うち建物火災は 9 件増加しましたが、林野火災は 12 件減少しました。出火の原因の 1 位は「たき火（約 18%）」で、火が周囲の枯れ草や可燃物に燃え移って火災に至っています。風の強い時や空気が乾燥している時には、火の取り扱いに十分注意しましょう。

火災概況

▲は減を示す

区分		平成 27 年上半期	平成 26 年上半期	比 較
火災件数合計（件）		71	72	▲1
火災 種別 (件)	建物火災	37	28	9
	うち住宅火災	19	10	9
	林野火災	2	14	▲12
	車両火災	10	3	7
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	22	27	▲5
死者（人）		2	2	0
負傷者（人）		9	7	2

出火原因

▲は減を示す

出火原因	平成 27 年上半期		平成 26 年上半期		比 較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	3	1	1	0	2	1
こんろ	6	5	1	1	5	4
かまど	0	0	0	0	0	0
風呂かまど	0	0	0	0	0	0
炉	0	0	1	0	▲1	0
焼却炉	2	0	1	0	1	0
ストーブ	5	5	3	3	2	2
こたつ	0	0	0	0	0	0
ボイラー	0	0	0	0	0	0
煙突・煙道	0	0	0	0	0	0
排気管	0	0	0	0	0	0
電気装置	0	0	1	0	▲1	0
電気機器	1	1	1	1	0	0
内燃機関	1	0	0	0	1	0
電灯・電話等の配線	0	0	2	1	▲2	▲1
配線器具	1	0	0	0	1	0
火あそび	4	1	0	0	4	1
マッチ・ライター	0	0	1	0	▲1	0
たき火	13	0	21	0	▲8	0
衝突の火花	3	0	0	0	3	0
溶接機・切断機	0	0	0	0	0	0

出火原因	平成 27 年上半期		平成 26 年上半期		比 較	
	全体	住宅	全体	全体	住宅	全体
灯火	1	1	1	1	0	0
火入れ	0	0	1	0	▲1	0
放火	3	1	2	0	1	1
放火の疑い	1	1	12	0	▲11	1
取灰	0	0	0	0	0	0
その他	8	0	7	0	1	0
不明・調査中	19	3	16	3	3	0
合計	71	19	72	10	▲1	9

救 急

軽症患者が全体の 50% 超え

上半期に発生した救急出動件数は 7,010 件でした。事故種別では急病が 4,424 件と最も多く、全体の約 63% を占め、次いで一般負傷が 1,091 件（約 16%）、交通事故が 623 件（約 9%）でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は 18 件減少し、搬送人員は 34 人増加しました。

また、救急出動全体の約 50% が軽症患者でした。軽いけがや病気（擦り傷、歯痛、風邪など）の場合などは、自家用車やタクシーなどでかかりつけの病院へ行きましょう。それが、本当に救急車を必要としている貴い命を救うことになります。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急概況

▲は減を示す

区 分	平成 27 年上半期	平成 26 年上半期	比 較
出 動 件 数	7,010	7,028	▲18
搬 送 件 数	6,367	6,337	30
不 搬 送 件 数	643	691	▲48
搬 送 人 員	6,457	6,423	34

救 助

交通事故による救助出動が最多

上半期の救助件数は 45 件でした。そのうち、交通事故が 26 件で全体の約 57% を占め、次いで建物等による事故およびその他の事故が 6 件、水難事故 4 件、機械による事故 2 件、火災 1 件でした。

出動件数 45 件のうち、現場で活動した件数は 29 件で、31 人を救助しました。活動件数に入っていない 16 件については、救助隊が到着するまでに自力で脱出したものや、付近の住民などによって救出されたものです。

夏の行楽シーズンは、長距離の運転、海や川でのレジャーが増える時期です。交通事故や水の事故には十分注意しましょう。

救助概況

▲は減を示す

区 分	平成 27 年上半期	平成 26 年上半期	比 較
出 動 件 数	45	61	▲16
活 動 件 数	29	40	▲11
救 助 人 数	31	39	▲8